

2024

7/27

みらい平市民センター
4階会議室

実施報告書

つくばみらい市のみらいのために一緒に考えよう

わたしたち市民にできること

目次

1. 実施概要	2
---------	---

2. 当日の様子	5
----------	---

3. グループワークでの意見	9
----------------	---

1. 実施概要

1、実施概要

日時場所

- 日時：令和6年7月27日（土）9:30am～11:30am
- 場所：みらい平市民センター 4F第1・2会議室

参加者

- 15名（応援職員のファシリテーター役を除く）

性別	人数	割合
男性	7	47%
女性	8	53%
合計	15	100%

地区	人数	割合
旧伊奈地区	3	20%
旧谷和原地区	4	27%
みらい平	6	40%
市外	2	13%
合計	15	100%

年齢	人数	割合
15～19歳	6	40%
20～29歳	1	7%
30～39歳		0%
40～49歳	2	13%
50～59歳	2	13%
60～69歳	2	13%
70歳以上	2	13%
合計	15	100%

目的 活用方法

- つくばみらい市の地域課題や暮らしの中での課題に関して、幅広い年代の市民の視点から多様な意見・アイデアを頂き、まちづくりの政策に反映していく。

当日の次第・タイムスケジュール

時間	配分	内容
9:30-9:40	10分	開会・あいさつ
9:40-9:45	5分	本日の流れ
9:45-9:50	5分	自己紹介
9:50-10:30	40分	前半「つくばみらい市の問題・課題は？」
10:30-10:35	5分	休憩
10:35-11:10	35分	後半「市民と行政でどんなことができる？」
11:10-11:25	15分	全体共有
11:25-11:30	5分	閉会

総合計画の概要及びつくばみらい市の紹介

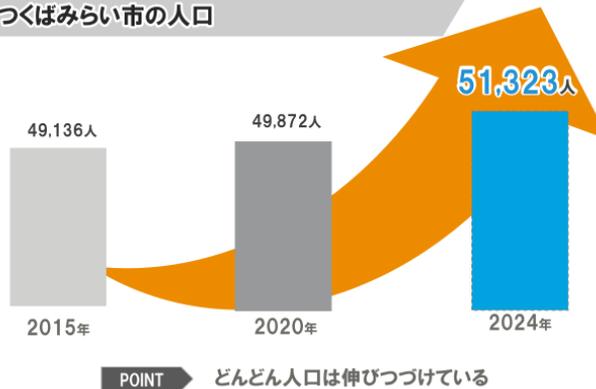
まず、市が目指すべき将来像「しあわせと笑顔あふれる みどりがつなぐ “みらい” 都市」の説明や将来像の実現に向けた市の最上位計画である総合計画の概要説明を行いました。

次に、人口の推移、財政状況、まちづくりの方向性（グランドデザイン）、進行中の大規模事業の説明を行いました。

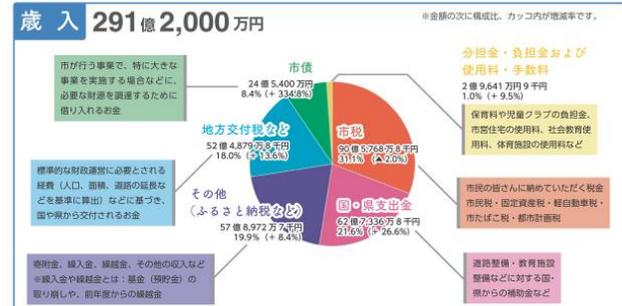
まちづくりの指針となる市の最上位計画



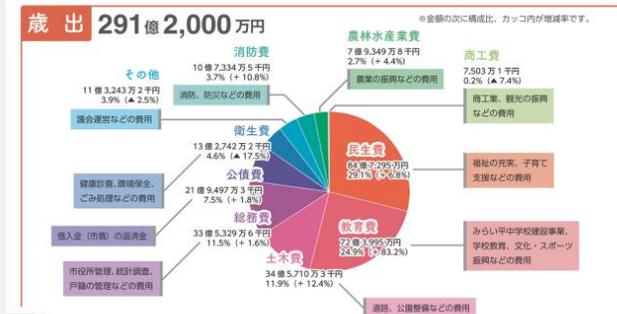
つくばみらい市の人口



つくばみらい市の予算（令和6年度）



つくばみらい市の予算（令和6年度）



これからのつくばみらい市



(当日資料より一部抜粋)

2. 当日の様子

当日の様子

つくばみらい市の課題を次の3つのグループに分かれて協議しました。

- 1 市民目線に立った質の高いまちを創る（分野__産業振興・土地利用・生活インフラ・住環境）
- 2 市民が豊かな暮らしが描ける場を創る（分野__子育て・教育・生涯学習・スポーツ・健康・医療・福祉）
- 3 連携や協力によって支え合う社会を創る（分野__地域コミュニティ・人権・行財政・広報広聴）

次のように話し合いをファシリテーター役の方を中心に行いました。

①問題・課題の洗い出し（個人ワーク）

10分

■ 所属する分野に関係する問題・課題を付箋に書き出してください。

問題・課題の考え方

- 1 **ご自身の体験**
(生活で困っていること、不便を感じること)
- 2 **全国的な課題**で当てはまるもの
- 3 **理想の状態とのギャップ**

※ さらに伸ばすべきところでもOK

目標 10枚

希望した
保育園に
入れない

子どもの
見守り充実
(特に下校時)

田んぼの
維持が難
しい

空き家が
増えてき
ている



②課題の共有・整理

20分

■ 付箋を模造紙に貼り出しながら、内容の説明をしてください。



全員が貼り終わったら、整理・グルーピングに進んでください。

■ 意見を整理・グルーピングしてタイトルをつけてください。



病院までの
交通手段が
ない
公共交通が不便

市内に本屋
がない
商業施設が少ない

※グループで発言のあった意見や補足があれば付箋に追記



③優先順位をつける

10分

■ 優先的に取り組むべき問題・課題の順位1~3位をきめてください



優先順位「1~3位」と書いてください

※グループで発言のあった意見や補足があれば付箋に追記

④できることを考える（個人ワーク）

10分

■ 自分や近所の方とできることを付箋に書く

できることの考え方

- 1 **問題・課題を解決**するため
(「●●●」で課題が解決できる)
- 2 **ご自身・家族とできること**
(私は(家族と)「●●●」に参加する)
- 3 **ご近所・地域**でできること
(地域で「●●●」ができる)

※ 出来たら良いなという理想でOK
※ 優先順位の高い分野から考える
(1~3位でない問題・課題にたいする「できること」もOK)

目標 5枚

ファミリー
サポートを
使用する

登下校のポ
ランティア
を月に1回
する

白米を食べ
る頻度をあ
げてみる

空き家の解体
費用補助を調
べてみる。

⑤必要なサポートを考える

20分

■ 付箋を模造紙に貼り出しながら、内容の説明をしてください。



「できること」は分野ごとに枠で囲み、問題・課題と線をつないでください。

■ 「できること」の実現に必要なサポートを話し合ってください。



グループで話し合いながら、「できること」の実現に必要な、市のサポート・取り組みを付箋で貼り出してください。

⑥発表の準備

5分

グループで話し合った結果をまとめて発表準備



例) ●●分野について話し合いました。
優先度の高い問題・課題として●●が挙がりました。
市民として●●という取り組みができるという話が出ました。
この取組を推進するために、●●というサポートが必要です。

個人ワーク・グループワーク

市長も各テーブルを回りながら参加者の意見をよく見てまわりました。



発表

グループワークのまとめとして、全体発表を行いました。深く考えた3つの課題・解決策の中から1つを選びグループごとに5分程度で発表しました。

発表

15分

グループで話し合った結果をまとめて発表準備

発表の順番（各班3分程度の発表）

1班 ⇒ 2班 ⇒ 3班

例) ●●分野について話し合いました。

優先度の高い問題・課題として●●が挙がりました。

市民として●●という取り組みができるという話が出ました。

この取組を推進するために、●●というサポートが必要です。

**最期に他の班が作成した別の提案も、
歩き回って見てみましょう！**



3. グループワークでの意見

1 市民目線に立った質の高いまちを創る 分野：産業振興・土地利用・生活インフラ・住環境

市民としてできること（自助・共助）

市からのサポート・支援（公助）

課題

具体的な取組

	課題	具体的な取組	市からのサポート・支援（公助）
生活 インフラ	<ul style="list-style-type: none"> インフラの老朽化（道路の段差・破損） TXが停止した際の守谷・つくばへのアクセス バスの路線・運行数が少ない TXの快速電車のみらい平駅での停車 車のない生活が不便 通学路が狭いところがある クールシェルター ・排水対策 魅力発見のためのウォーキングコース 	<ul style="list-style-type: none"> ひび割れた道路の個所は避ける 月1回での草刈りボランティア タクシーを使う TX快速停車に向けた署名活動 地域ボランティアで火の用心の啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 道路不具合などを市へスマホ連絡できるように 道路に関する安全・防犯マップづくり ウーバータクシーの提案
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスホテルがない ・店舗が少ない コンサートホールがない 街灯が少ない 居酒屋が多く景観が悪い ゴミが捨てられやすい場所がある 家族や友人と利用できるレストランが少ない 自転車の修理ができる店がない 	<ul style="list-style-type: none"> 自転車に明かりをつける 夜は該当が少ない道避ける ゴミ拾いサークルの設立 定期的にボランティアの修理会を開催する 	<ul style="list-style-type: none"> 空き家・空き地バンク制度の要望 車や自転車のシェアリングシステム 農家レストランCaféの誘致
農業 振興	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の増加 農作物のブランド化の強化 若者の農業離れ 農業体験での技術継承 農家の高齢化 農業後継者への支援 資源循環と結びついたスマート農業の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 名産物を親戚友人に紹介する 講話を聞く・体験に参加する 田植え・稲刈りのワークショップをする 市の農業体験に参加し農業の楽しさを伝える いきいき働く農業やおもしろ作物の紹介 地産地消を心がける 	<ul style="list-style-type: none"> 農家と市民が話せる場をつくる 農地バンク制度の広報拡充 井関農機・クボタと協働したスマート農業のデモ公開 農業者ネットワークの整備と参画
土地 利用	<ul style="list-style-type: none"> 環境意識の強い企業の誘致 マンション・工場施設のスピード調整 相続困難な土地・家屋の公有地 民間活動とゾーニングのバランス 駅前の混雑 		
その他	<ul style="list-style-type: none"> みらい平地区にサークルが少ない 将来ケアハウスにする学校づくり 		

市民目線に立った質の高いまちを創る

都市計画
土地利用
生活インフラ
住環境

住環境②

近くに
コンビニが
ない

バスが
少ない

駅前が
汚い

足湯が
ない

公園が
少ない

自転車の
修理店
がない

コンサート
がない

家族で
食事が
できる
お店が
少ない

花見が
できる

② 住環境
具体的に
何を
実現する
か

自転車の
修理店
を増やす

花見が
できる
場所を
増やす

空き家・
空き店舗
の活用

子育て
支援

高齢者の
生活支援

土地利用④

駅前
再開発
(駅前
再開発
計画)

駅前
再開発
計画

その他

25m平地
にサウナ
が少ない

子育て
支援

③ 農業振興

農家の
高齢化

農業
振興
策

① 生活インフラ

バス
路線
の
増設

77歳
以上
の
高齢者
の
生活
支援

発表

1 市民目線に立った質の高いまちを創る

分野：産業振興・土地利用・生活インフラ・住環境

生活インフラ分野について話し合いました。

優先度の高い問題・課題として、インフラの老朽化やTX・コミュニティバスなどの公共交通の利便性の向上などの課題が挙げられました。

その課題を解決する取り組みとして、わたしたちには道路の破損を発見したら、現場がどのような状態であるかを位置や写真などの情報を市に報告したり、タクシーを積極的に利用する取り組みができるという意見をまとめました。

この取り組みを推進するために、例えばLINEのような多くの人が利用しているアプリを通じてスマートフォンでその場ですぐに市に報告したり、タクシーの配車ができるようなシステム構築というDX化のサポートを市に支援して欲しいと考えました。

2 市民が豊かな暮らしが描ける場を創る 分野：子育て・教育・生涯学習・スポーツ・健康・医療・福祉

市民としてできること（自助・共助）

市からのサポート・支援（公助）

課題

具体的な取組

学校・ 学びの 教育

- 英語を低学年から重点化 ・自然を生かした授業を増やす
- 海外留学を支援するしくみ ・でこぼこ道が多い
- 国際交流の機会が少ない
- 発展的な学びへの施設が少ない（美術館・科学館）
- 交通事故が多いので注意喚起の授業を家族で行う
- 小学校の統合があった
- 高校を増やす
- 市としての人材育成の方針が見えない
- 給食の質・量を充実していない

- 海外交流の経験を話して共有する
- 外国籍の方に積極的にボランティア参加をしてもらう
- 田植えや農業体験を授業で行う
- コミュニティスクールに参加する
- 学校のクラブ・部活動に地域の年配者の出番をつくる
- 交通事故が多いエリアを家族で共有する

- 英語学習や外国人の人との交流機会の場をつくる

子育て 支援

- 子育て支援ボランティアがあるのか？
- 市の事業に子どもたちが主体的に関わる機会をつくる
- 教育費以外の無償化
- メリットとしての入学祝いがあるといい
- 待機児童0人を維持できるか不安

- ファミリーサポートに登録する
- ボランティアに参加
- 寄付をする
- 困っている人がいたら支援する
- 解決につながる既存の取り組みがあるか調べる

- ボランティアや支援に関するイベントの告知を大々的にする
- 支援したい人のマッチングの場の充実
- 市民の意見を聞く窓口を市役所につくりイベント企画のサポートをする
- 給食費の無償化

世代間 交流

- 高齢者と地域の子どもたちが共にふれあう場が少ない
- ドリンクを飲みながらゆっくり読書できる本屋や図書館がない
- ラジオ体操が近所のできる場がない
- 図書館の駐車スペースが少ない
- 大きなスポーツイベントを増やすべき

- 核家族とシニア家族をつつなげるイベントを企画
- イベント開催のためにボランティアを進める
- 積極的に公園に足を運ぶ
- 交通安全の取り組みに参加していく
- 多世代交流のイベントを企画しスポンサーを募り試行的に実施する
- 地域密着型スポーツクラブに入る

- 子どもから大人まで集まれる場所・機会

病院 医療

- 救急病院が近くにない
- 子どもが安心して受診できる病院がないように思う

お店

- 本屋・文房具などの店がない
- 大型ショッピングモールがあるといい

市民が豊かな暮らしが描ける場を創る

子育て・教育
生涯学習・スポーツ
健康・医療・福祉

1 学程・学び・教育

海外留学の
体験型学習
体験(1)

高校を体験
いいね(1)

子供の
発展的
学習(1)

子供の
発展的
学習(2)

子供の
発展的
学習(3)

子供の
発展的
学習(4)

子供の
発展的
学習(5)

子供の
発展的
学習(6)

子供の
発展的
学習(7)

子供の
発展的
学習(8)

子供の
発展的
学習(9)

子供の
発展的
学習(10)

病院医療

東急病院
の
見直し
7/11

子供の
健康
を
守る
ための
取り組み
(1/1/2)

2 子育て支援

子育て支援
の
見直し
7/11

子育て支援
の
見直し
7/11

子育て支援
の
見直し
7/11

子育て支援
の
見直し
7/11

3 世代間交流

高齢者と
地域の
つながり
を
深める
ための
取り組み
(1/1/2)

子育て支援
の
見直し
7/11

子育て支援
の
見直し
7/11

子育て支援
の
見直し
7/11

本島
の
子育て
支援
の
見直し
7/11

大きい
子供
の
遊び
場
を
作る
ための
取り組み
(1/1/2)

お店

交通安全
の
見直し
7/11

交通安全
の
見直し
7/11

交通安全
の
見直し
7/11

交通安全
の
見直し
7/11

子育て支援
の
見直し
7/11

発表

2 市民が豊かな暮らしが描ける場を創る

分野：子育て・教育・生涯学習・スポーツ・健康・医療・福祉

子育て支援分野について話し合いました。

優先度の高い問題・課題として、子育て支援の取り組みやボランティアについてどのようなものがあるのか市民が十分に知らないということや、子どもたちが市の事業に主体的に関わる機会が少ないという課題が挙がりました。

その課題を解決する取り組みとして、わたしたちにはファミリーサポート事業などの既存の取り組みに登録し、積極的にボランティア活動に参加することや、寄付を行うという取り組みができると意見をまとめました。

この取り組みを推進するために、既存の取り組みの大々的な周知を行うことや、支援を受けたい人と支援をしたい人のマッチングを行うサポートを市に支援して欲しいと考えました。

3 連携や協力によって支え合う社会を創る 分野：地域コミュニティ・人権・行財政・広報広聴

市民としてできること（自助・共助）

市からのサポート・支援（公助）

	課題	具体的な取組	
情報が少ない	<ul style="list-style-type: none"> 自治体で行っているイベントが少ない コミュニティイベントを知らない 市の広報紙がすてき 自由に勉強できるスペースが駅近くにあればいい 就活中地元にある企業を知りたかった 	<ul style="list-style-type: none"> ネットでまとめた情報を載せる 地域の小中学生による情報発信 自治体のSNSをリポストする 守谷・つくばを一体として捉える 市で行われているイベントをまとめた冊子を学校などにおく 知ったことを共有する 	<ul style="list-style-type: none"> 各家にイベントやボランティアのお知らせチラシを配る 市のホームページやXを活用する 市のSNSで地元のお店を紹介 情報紹介の専用窓口を設定する
コミュニティ・交流	<ul style="list-style-type: none"> 新・旧住民の意識の違い・交流がない 伊奈・谷和原の一体感の薄さ 新住民の郷土意識の薄さ、帰属意識がない 自治会で草刈りの費用・人が足りない 自治会がないので近所の人と交流ができない 外国籍の人を良く知らない 同世代間、高齢者、世代間のつながりが弱い 	<ul style="list-style-type: none"> 市の誇りを探す・つくる 地元の食堂に行く 地元によく戻り小学校の友人に会う 趣味のグループをつくる 同窓会の開催 成人式に参加 自分から積極的に挨拶・世間話をする 困っている人いないか気にする 高齢者の交流グループをつくる ボランティアに参加する 学校教育と地域を連携した活動を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> デジタルだけでなくアナログの情報交流の促進 交流できる場所用意しておく ボランティア参加に必要な物を市で用意する
施設（利便性）	<ul style="list-style-type: none"> まちづくりの核はどこか？（アクセスやコンパクトシティなど） コミュニティセンターが駅から遠い 学生参加のコミュニティイベントが駅近で帰りに参加できたらいい 	<ul style="list-style-type: none"> できるだけ公共交通機関や自転車をつかう 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバス、スクールバス、民間バスの一体化 自転車が使いやすいインフラ整備 施設の利用予約を年間可能にする コミュニティセンターに広告・チラシを貼る手続きが面倒なのでもっと自由にする
高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が災害にサポートできる体制がない 介護保険料について基礎資料を開示し目標値を設定する 健康促進のために目標感が必要ではないか 		
行財政	<ul style="list-style-type: none"> 財政がふるさと納税だよりで大丈夫か 人口戦略会議で「自立可能性自治体」になったがその先のビジョンがない 		
人権	<ul style="list-style-type: none"> 市の人権問題に何があるのか知らないことが問題 		

発表

3 連携や協力によって支え合う社会を創る

分野：地域コミュニティ・人権・行財政・広報広聴

地域コミュニティ分野について話し合いました。

優先度の高い問題・課題としてコミュニティイベントを知らなかったり、開催数が少ないといった課題があがりました。このことで住民同士の交流が少なくなりコミュニティが減少し、自治会の縮小の問題につながっているという課題が挙がりました。

その課題を解決する取り組みとして、わたしたちにはイベントをまとめた冊子を学校においたり、市公式SNSをリポストするなど、市民が目にする機会を増やす手助けをすることや、自ら地元の食堂に行ったり、同窓会・成人式などに参加するという取り組みができると意見をまとめました。

この取り組みを推進するために、市の公式HPとSNSの投稿を充実させ地元のお店の紹介を取り入れたり、イベントやボランティア交流の場所提供などのサポートを市にして欲しいと考えました。